

大分教育事務所訪問 34

大分市立荏隈小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「共に生き、共に学び、共に汗する心豊かな荏隈っ子の育成」を達成するために、かわり合うことを通じて肯定的な人間関係を築き、自他へのやさしさ、思いやりの心をもった取り組みを進めています。

そして、目指す子ども像を「よく考え、学び合うことができる子」「互いに認め合い、友だちと仲良くできる子」「粘り強くがんばりぬくことができる子」と定め、そのために3部会を中心に組織的に取り組んでいます。

特に注目すべきは、毎月最重要目標を一つ決め、そして「結果にこだわり、結果を出す」ことを目標にして徹底的に行っていることです。結果がでること、子ども達だけでなく教職員も成功体験を感じることができ、人材育成にもつながっています。特に5月の体力向上に関する施策では大きな成果がでました。

今後は、「学校経営計画表」にあるそれぞれの取組項目が、子ども達にどの「資質・能力（3本柱）」を育てるのかを明確にすることで（目的）、教職員や保護者・地域のベクトルが揃いやすくなります。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まることが期待できます。



授業から学ぶ

2年生の教室では、落ち着いた教室環境の中で、構造的な板書や掲示物の出し方が効果的であるので、子ども達は一生懸命考えていました。

3年生の教室は、リズムとテンポがよく、子ども達がとても意欲的に参加していました。共に安心・安全な教室環境ができてるので、学び合い等を取り入れることで、学校の教育目標である、「共に学ぶ」ことの具現化につながると思いました。

今後は、授業の終末の「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思いました。



共に汗する

共に認め合い、競い合うから、共に成長する。

共に学ぶ

一人では不安なことも、友達がうなずいてくれるだけでも安心する。